

夢を見るより大切なこと

11月8日は、暦の上では立冬だったそうですが、朝晩は寒いのですが、日中は過ごしやすい気候の日が続いています。新型コロナウイルス感染者数も県内は0の日が続いており、落ち着いたなかで教育活動が進んでいます。

さて、11月1日(月)に今夏の2020東京パラリンピックに出場し、走り高跳びで4位入賞を果たした義足のハイジャンパーである鈴木徹選手に本校を訪問いただき、PTA健全育成講演会のなかで全校生徒対象にお話をいただきました。鈴木徹選手は、中学・高校時代はハンドボール部で活躍、国体にも選ばれた素晴らしい選手でした。しかし、高校卒業を控えた18歳の時に交通事故で右足膝下を切断してしまいました。1年後、2000年のシドニーパラリンピックに初出場し、義足のアスリートとして初めて走り高跳びに臨みました。以来、アテネ、北京、ロンドン、リオ、そしてこの夏の東京と6大会連続出場しています。東京大会で悲願のメダル獲得を目指していましたが、あと一步届かず4位でした。パラ陸上界のレジェンドとして現在も活躍中です。先日、東京大会での活躍に対して、山梨県の県民栄誉賞が贈られました。本校の飯島先生と鈴木選手が高校の同級生であるというご縁があり、今回お忙しい中おいでいただきました。



鈴木選手は、5歳の頃、徐脈性不整脈という病気により平常時の心拍数が32までに落ちてしまい、激しい運動を禁止されたそうです。また、吃音症があり、小学校に進学してもその症状は続き、いじめの対象になったこともあったそうです。周囲から真似をされ、からかわれ、より無口になっていく……。そんな鈴木さんが、唯一生き生きと躍動したのが体育の時間やスポーツをしている時間でした。言葉はなくても体を動かすことで喜びが得られる、体育があるから、いじめられても学校に通い続けることができたそうです。18歳の時、卒業式を目前に控えていた頃に、交通事故で右足膝下を失ったときもスポーツへの想いは消えなかったそうです。鈴木さんからは、挑戦することが大切、苦手なことがあってもすぐに断るのではなくチャレンジしてほしい、目の前のことにしっかりと取り組んでいくことで未来が拓くことができる、チャンスは平等にあると伝えてくれました。それから人とのつながりを大切にしてほしいと話してくれました。鈴木さんは、足を切断した時もたくさんの方々から支えられ、ここまでできたそうです。だから、人との繋がりを大切にしているそうです。ゲームのなかの友だちよりも顔が見える友だちとのつながりを増やしてほしいと話してくれました。あっという間の一時間で、素晴らしい学びの時間となりました。

<生徒の感想>

「本当にありがとうございました」という言葉を直接、PTA健全育成講演会に関係している方々へ伝えたいくらい貴重で素晴らしい経験することができて、とても感謝しています。私は将来の夢がありますが、「夢を持つより大切なこと」の講演を聴いて、「友だち、友情の大切さ」と「あきらめない強い心」を学ぶことができました。将来の夢を大切にしながら今日の講演会で学んだことを大切にしていき、「ありがとう」を大切にしている大人になりたいです。(1年2組 早川未来さん)

今回は私たちのために講演会を開いてくださり、ありがとうございました。選手として、そして人生の先輩としてとても参考になるお話でした。私が講演のなかで、一番印象に残ったのは「ありがとう」をもらえる選手という

言葉です。確かに考えてみれば、選手はどれだけ頑張っても「おめでとう」は言われても「ありがとう」は言われないので、「ありがとう」をもらえる選手になるというのは、とても納得し、共感しました。私も陸上の選手として、一人の人間として前向きに生きていこうと思いました。(2年1組 宮沢龍之介さん)

今日は、たくさんのことを教えてくださりありがとうございました。私は今、膝の靭帯を切ってしまって、大好きなスポーツがしばらくできない状況で、とても辛いです。けれど、今日の鈴木選手の話聞いて、スポーツができない今を悩むのではなく、足がよくなったら、どんなことをしようかなと前向きにとらえ、頑張りたいです。これから様々なことに挑戦し、人とのつながりを大事にしていきたいと思いました。(3年3組 加々美遥さん)

緑水祭に向かって

新型コロナウイルス感染防止のために、延期している緑水祭も11月18日(木)・19日(金)に実施をします。今、学校では、全校生徒が緑水祭に向けて体育部門の練習や学級合唱、全校制作にと毎日の取組に頑張っています。日々の活動の成果を集大成し、『千紫万紅(せんしばんこう) ~すべての花よ 咲き誇れ~』のテーマのもと、素晴らしい緑水祭を創り上げようとする一生懸命な姿が校舎やグラウンド等で見ることができます。事前に、ご案内させていただいているように、文化の部については会場の密を避けるために保護者の皆様方の参観はご遠慮いただきます。ライブ配信にてご覧いただけるよう準備を進めていますので、是非とも視聴いただきたいと思います。体育の部については各家庭1名となりますが、参観いただき、生徒たちの頑張る様子をご覧いただきたいと思います。感染防止対策をしっかりととった上で、玉幡中学校全校生徒の絆の力を、ひとりひとりの生徒が咲き誇る花のように輝く様子を応援していただければと思います。よろしく願いいたします。

玉幡中学校の学校行事には「感動」との出逢いがあります
中学生にとって大切なことは「感動」との出逢いです
「感動」とは心かゆさぶられること
そのゆさぶりが大きければ大きいほど君たちは成長します
君たちは今、まさに「感動」できる大きなチャンスに出逢っています
体育祭の練習や合唱の練習はしんどい
しんどいから意味が無いか、勝てないからやっても無駄だとか・・・
でも、本当にそうなのでしょうか
とにかく「やってみる」「やりきる」ことが大切です
物事の意味とか、やりかたとかは、何かをやる前からあるのではなく
実際にやってみることから生まれます
挑戦しよう、新しい自分へ
大きな感動を、確かな成長を実感できるように



